



第20号

「PMFを応援する会」会報

協奏

2019年5月13日

祭にする・・・PMFの断章より

宮部 光幸 株式会社 宮部
PMFを応援する会フェロー

🌸 小樽への小旅行

何時からか、PMFを応援する会の鈴木さんとアカデミー生の滞在中の過ごし方についての話になっていた。息抜きに近場に連れて行っては、といった話がでて、小樽・秋野の円吉山別荘への小旅行となった。メディカルネットワークシステムの秋野治郎氏は北海道一鯨を獲った木村圓吉家の別邸再利用を行った処だった。この旅行は『札幌とは違った、もう一つの北海道歴史の凝縮している街』を遠来の若者に知ってもらうのに丁度よいと思った。秋野氏の多大なご尽力により同氏家伝の料理がふるまわれたが、その一品はボルシチだった。それを食したバイオリニストが『母の味がする』と眼を細める。

小樽・秋野は日清戦争後、樺太に分店を出していたが、その後の日露講和条約により国境が北緯50度となり、51度所在の分店が閉店を余儀なくされそうになった折、現地のロシア人に支配人採用で店の存続となった。支配人は年一度、会計報告に小樽に来るが、その人『グスタフさん』は樺太への流刑ポーランド学生だった。18世紀末のポーランド分割、ロシア領となり故国の独立活動をした若者が流刑地に送られていたのだ。

明るく、極めて聡明、かつ感受性豊かな彼(ショパンみたいでしょ)は秋野家の女性たちのあこがれの的。それでグスタフ伝授のボルシチ、つまり秋野のボルシチはポーランド風である。件のアカデミー生はポーランド系となるのでは・・・私たちの知る世界史の底辺にもっと深く豊かなもの、政治と音楽があることをPMF『祭』は教えてくれるのですね。

🌸 もう一つの旅、アンサンブルの公演計画

明治初期、開拓使の描いた北海道像は大規模畜産農業だった。札幌・前田農場、旭川・松平農場、雨竜・華族農場そして華族農場の同庁派遣吏員の町村翁の農場づくりの夢を今、江別に見る。この150年後の理想郷を見ることができる。アカデミー生にこの江別を見てもらいとも思った。奇しくもキタラと同年の大麻・エポアホールは近隣住民が音楽を楽しむアットホームなスケールのホールとして地域の音楽の拠点として愛されている。『オーケストラもいけれどアンサンブルもいよ』と竹津先生は謂うに違いない。

この江別公演は江別有志の呼びかけで実行委員会が立ち上がり、この尽力で実現する運びとなった。これはロータリークラブの人脈の成果。世界の『PMFとロータリーがこの地でジョイントする』 私にとっては極めて自然なことが実現していなかった。

次世代の音楽家を育てるPMFに地域の民の公共へ向けた青少年育成の一助として活動しているロータリクラブが参加する・・・ 言語の壁を越えて感性を共有する『音楽祭』PMFが本当に地域の国際化の柱となることに、これらの人々は気が付き出している。PMFが地域活動する各種団体とリンクすることがPMF30年を機に拡大してもいいと思う。なんといってもPMFは『札幌の夏の祭』でもあるからだ。PMFは市民生活に密着する、これ30年以降のテーマの一つ



PS.札幌の有志ロータリクラブは7月28日、ヒタル公演に青少年とその保護者300人を招待する実験を進行中

皆さまから託された募金をPMF組織委員会上田文雄会長に30万円をお届けしてまいりました。これまでの寄附総額は5,625,000円となり、当会の活動が始まってからの10年に想いを馳せ感無量となりました。皆さまの熱い思いに支えられ、勇気をいただきながら続けてこられた毎日でした。あらためて深く感謝申し上げます。

また、組織委員会から今年も感謝状を頂きました。これまでの感謝状はカフェ・ディ・レニー（札幌市南区常盤4条2丁目17-13mobile:080-4044-4341）に飾っていますので、足をお運びくださいましたら嬉しいかぎりです。中央バス

停留所「札幌芸術の森入口」のすぐ近く、白樺と野草に囲まれた喫茶店です。

PMF札幌が北の大地から世界に発信され“文化の豊かさと喜び”が伝わりますよう活動を進めてまいります。今後とも、変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



平成30年度事業報告 (2018年4月1日～2019年3月31日)

《活動状況》

- 前年度会計監査（於 監事事務所）…………… 4月11日
- 平成30年度定例総会…………… 4月24日
- 市長主催オープニングレセプション出席…………… 7月6日
- 「協奏」19号発行、発送…………… 10月2日
- PMF組織委員会へ寄付金贈呈…………… 3月4日
- 定例役員会開催全14回…………… 2018年4月2日～2019年3月26日
- バーンスタインオフィスからクレジット取得…………… 2018年9月24日
- HP管理

《主催事業》

- カフェ・サロン#27「オープニングで会いましょう」（於 芸森）…………… 7月7日
募金者や市民とアカデミー生交流
- カフェ・サロン#28 ニドムツアー（於 ホテルニドム）…………… 10月29日
「バーンスタインに出会うツアー」
- アニバーサリーミーティング（於 パークホテル）…………… 1月21日
- フェローミーティング（於 キタラレストラン）…………… 7月6日
//（於 パークホテル）…………… 1月21日

《パトロネージュ・マネージメント事業》

- テーブルオーナープラン；アカデミー生夕食招待パトロネージュ事業…………… 7月23日
協力者：5組（招待先：居酒屋3、寿司屋1、蕎麦屋1）
- 小樽ツアー；アカデミー生招待パトロネージュ事業…………… 7月23日
協力者：秋野治郎、宮部光幸、紫藤正行、小泉美芳
- シートオーナープラン；PMFコンサートのチケット贈呈
留学生（北海道大学）…………… 7月23日 ホストシティオーケストラ演奏会
青少年（窓口、子ども未来局）…………… //
- 留学生（上川郡東旭川、北工学園）…………… 7月28日 ピクニックコンサート



平成30年度募金報告



2018年4月1日～2019年3月31日

募金ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

募金者名

敬称略、五十音順／募金額

赤石尚一	赤石知恵子	秋野治郎	東修子	阿部千秋	雨貝尚子	井浦功雄	池田静子
池津真理	石掛恵子	石橋喜重子	伊藤佐紀	井上睦子	上松瑛	大久保玲子	大滝誠一
大場豊	奥村道子	小野美代子	表山千春	加々谷玲子	葛西淳子	葛西皮膚科	葛西庸子
萱津望	河邨宣子	菊地	久住孝之	熊本寛見	倉岡修子	小泉美芳	後藤弘子
小林敦	コレト美香子	今裕子	近藤崇	近藤光子	斎藤晋吾	齋藤淑子	佐藤真紀子
澤口恵子	繁富恭子	紫藤正行	渋谷優佳	清水貴子	下川弘子	杉中佐智子	杉本純子
鈴木喬	鈴木敏明	鈴木有子	須田和子	鷺見武	鷺見陽子	関蓉子	鷹野正義
高橋徹	高橋実規子	高橋来	竹津伊織	竹津香織	竹津香苗	竹津秀磨	竹部玉枝
田熊勉	多田富子	田中薫	谷内茂	谷口哲雄	田村輝代子	丹野美佐江	天日彰子
天日一光	徳永純子	徳永隆史	徳永洋	中島禮子	中野敏仁	中村千賀子	西川優
西川吉武	根本常子	根守康子	野呂洋子	橋本信夫	畠謙二	花井美恵子	馬場彰子
林泰男	原島恵子	平松明子	廣田一郎	廣田聰	廣田美香子	廣田美貴子	藤田澄江
藤森亜矢子	藤原夏樹	星野慶子	本間ひとみ	本間良子	牧原和美	松川早苗	三坂桂子
三谷和央	宮部光幸	村田保弘	目加田燃	森口力	八木幸三	山栄昭二	山際豊重
山中三知	山中幸光	湯原光子	横山憲治	横山圭子	吉田幸弘	渡邊浩	ほか匿名

カフェサロン「オープニングで会いましょう」募金箱 (510円)

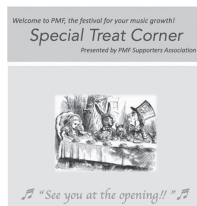
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
募金額 607,510円	136,000	36,000	19,000	23,510	7,000	1,000	277,000	42,000	17,000	18,000	0	31,000
募金数 123件	23	14	4	8	3	1	41	10	4	7	0	8

3

2019年度事業案

(2019年4月1日～2020年3月31日)

- 募金推進
- 組織委員会への寄付
- 会報『協奏』発行 HP管理
- カフェサロン
- フェローミーティング
- アニバーサリーミーティング
- 北海道大学講義「PMFの響き」



カフェサロン
「オープニングで会いましょう」



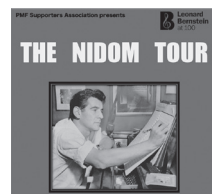
アカデミー生向け
「小樽ツアー」



テーブルオーナープラン
「アカデミー生招待ディナー」



シートオーナープラン
7/28 スペシャル・コンサート
in hitaru



カフェサロン
パースタインメモリアル
「ニドムツアー」

5/25カフェサロン
@SCARTS

7/23PMFアンサンブル
江別公演支援

出前コンサート
アーティストや
スタッフの登録

募金協力者限定
懇親会・サロン
パーティー

おかげさまで「応援する会」は10周年を迎えます。協奏の愛読者である皆さまから直接お話を伺う機会を設け、ご意見を承りました。改めて、ファンのありがたさを感じました。

- ▶ 市民とアカデミー生や教授陣との距離が遠く感じる。もっと近くなると札幌で開催されている実感がわき、応援のしがいがある。出会い、人柄に触れ、親しみを感じ互いの文化を理解することで平和の担い手となる。
- ▶ PMFと市民との直接の関わりをどのように増やしていけるかが大切。
- ▶ そうすれば、募金する人が増えるかもしれない。
- ▶ 短期的な利益ではなく、長期的な視野で考え実行することが、メリットを生む。
- ▶ 効果的なことをしているにも拘わらず、周知が進んでいないのはもったいない。
- ▶ 募金をすることの利点・会員制を考えるならばその利点を明確にして参加したくなる仕組みづくりが必要でないか？
- ▶ 「ボランティア会員と募金会員」など選択の余地があると良い。

フェローミーティング

2019年1月21日（パークホテル）15:00～17:00

フェローの皆さまをはじめ、ゲストに「PMFアンサンブル江別公演」に関わっておられる安孫子建雄氏、PMF組織委員会常務理事、林泰男氏をお迎えして、当会への提言をいただきました。また、先に行われたアニバーサリーミーティングの報告とともに有益な話が進みました。「できる」「叶う」というイメージが共有された心強い時間となりました。

- ▶ ものすごいポテンシャルのあるPMFが、すぐそばでやっているということが、まだまだ認知されていない。
- ▶ PMFのポテンシャルをもっと活かそう。
- ▶ 若い世代へと広げていく具体的な方策を。
- ▶ 若い世代にアートボランティアの存在を知らせていく。
- ▶ 札幌近郊での取り組みも、PMF全体の盛り上がりへつながる。
- ▶ 文化発信基地としてのPMF、「文化は北から」をめざす。
- ▶ アカデミー修了生、PMFに関わってきた人々に呼びかけ新たな活動のステージ創り。
- ▶ それぞれの経験を活かす得意分野での「応援する会」への協力は強力。



PMF組織委員会 林常務のご挨拶から……（要約）

今年、PMF30回を迎えるにあたり、地域市民との交流の機会を増やせるかなと思っている。江別では、7月23日には、ただ公演するだけでなく、地元の方々との交流を行おうとしている。これは一つのモデル事業になると思う。30回の決意と言ったら言い過ぎだが、エッシェンバッハがマーラーの交響曲第8番を演奏すること、そして交流というキーワードで何ができるかという事を模索しているところです。



- ◆ PMFを応援したいとき、どちらに寄付したらいいのかしら…
- ◆ わたしの寄付は、どんな風に使われているのかしら？
- ◆ 応援する会の事業に参加したいときは、どうするのかしら？
- ◆ 応援する会には、どのくらいの人がいるの？
- ◆ もっと仲間や友人をつくりたいのだけれど…
- ◆ 個人情報管理されているの？
- ◆ PMFのアカデミー生や教授陣と直接話してみたいわ！
- ◆ わたしのアイデアを使ってくれないかしら…



こ、これは・・・
「主体的に関わる市民」
の姿、いいな！



現行の体制では…

- ▼ 好きな時に好きなだけ気軽に寄付ができる
- ▼ 負担感・束縛感が少ない
- ▶ 組織委員会と窓口が二つになって混乱を引き起こしやすい
- ▶ 転居などで、連絡が取れなくなる
- ▶ 資金援助で参加したい方と、企画運営に関わりたい方と区別されていない
- ▶ 事業企画の周知の範囲が定められていない
- ▶ 成果のフィードバック・謝意の表現が『協奏』によるお知らせのみ

仮に、会員制度を採用したなら…

- 指定寄付ができ、寄付が何に使われているかがよくわかる
- 情報開示の範囲が明確になる
- 特典・サンクスメールなど、謝意を受け取りやすくなる
- 会員限定事業への参加が可能になる
- 友達・仲間をつくりやすくなる
- お金に限らず、時間やエネルギーを「寄付」することができる



こ、これは・・・
運営の負担が増えるのでは？
実行もできるのだろうか？

無理せず緩やかに、
地に足をつけて行こう。

一緒に
もっと検討しましょう！



新しいことができそうで、
ワクワクするわ・・・♡



みな様のご意見をお聞かせいただけませんか？

同封のアンケート用紙にご記入の上、会長代行宛に郵送ください！みな様からいただいたご意見は、次号の協奏でご報告いたします。ご協力どうぞよろしく願いいたします！

公益財団法人PMF組織委員会から

皆さま、こんにちは。いつもPMFをご支援いただき、ありがとうございます。
アカデミー・オーディションも無事終わり、この会報が出る頃にはチケット販売も始まっていることでしょう。
PMF組織委員会では“PMF2019”に向けた準備を急ピッチで進めています。
ここでは、5月から6月にかけてどんな仕事をしているのか、その一部をご紹介します。

●チケットの仕分け

PMFの演奏会チケットをお買い求めいただく方は、一度にたくさんのチケットをまとめ買いされる方が多いという特徴です。中には、ほぼ全公演ご注文される方も！仕分けを間違えないように注意しながら作業を進めます。

●室内楽プログラムの決定

アカデミー生には、必ず全員に室内楽曲の演奏の場が設けられます。難易度や教育的な観点はもちろんのこと、さまざまな楽器を組み合わせながら、お聴きいただく皆さまにもお楽しみいただけるようなプログラムを選定する作業はまるでパズルのよう。担当者の苦悩の日が続きます…。

●楽譜の準備

PMFで演奏する曲は、時代は古典から近現代まで、編成はソロから合唱を含む大オーケストラまで、さまざまです。専門のライブラリアンが、本番で使用する楽譜に弦楽器の運弓記号を付けたり、頁をめくりやすいように製本するなどの準備を進めます。



●公式プログラムの制作

PMF2019の全公演情報を網羅するだけでなく、読み物やお役立ち情報などが満載の『PMF BOOK 2019』の制作が佳境を迎えます。校正は数ページごとに分け、全員が手分けをして複数回行いますが、とにかく原稿の量が多いので大変です！

このほかにも、創設30回目となる今年は、周年を記念した事業をいくつか計画しています。内容が固まり次第、公式ウェブサイトなどでお知らせしますので、どうぞお楽しみに！

【お知らせ】・・・Information・・・【お知らせ】

●「オープンリハーサル」演奏会本番に向けた音楽づくりの現場をぜひご覧ください。

今年から右記の方を対象として無料で公開します。

*公開するリハーサルの詳細は、6月以降、PMF公式ウェブサイトなどでお知らせします。

ご入場いただける方	当日の受付方法
U25 (小学生以上)	年齢を確認できるものご提示
リハーサルを行うプログラムの演奏会チケットをお持ちの方	チケットのご提示
PMF2019フレンズ会員	会員証のご提示
音楽教育関係者	身分証などのご提示

●「教育セミナー」お申し込み開始！

第1回以来29年ぶりの再来が話題の指揮者、マリン・オルソップに、音楽に対するさまざまな思いを語ってもらう「教育セミナー」。5月13日(月)から事前申込をスタートします。公式ウェブサイトにある専用フォームかお電話でお申し込みください。

日 時：7月14日(日) 16:30～18:00
※PMF GALAコンサート終演後
会 場：札幌コンサートホールKitara (小ホール)
定 員：300人
参加料：一般500円(当日払い)
※U25の方とPMFフレンズ会員は入場無料！
言 語：英語(日本語通訳付き)

●会期中の営業時間延長

事務局の窓口・電話の営業時間を大幅に延長します。残席があればチケットは2日前までお買い求めいただける他、公式グッズの販売やインフォメーションコーナーとしてもご活用ください。

・7/1(月)～26(金)の平日 ※7/5(金)を除く
9:00～20:00
・7/7(日)～27(土)の土日祝日
11:00～17:30
※通常営業時間：平日の9:00～17:30

PMF組織委員会では、30回の節目を迎える今年の会期がより良いものになるよう、全力で取り組んでまいります。これからもPMFへの変わらぬお力添えをどうぞよろしくお願いいたします！

<お問い合わせ> (公財)PMF組織委員会
札幌市中央区南2条東1丁目1-14 住友生命札幌中央ビル1階
電話：011-242-2211
公式ウェブサイト：<https://www.pmf.or.jp>

私は歌います！ エッシェンバッハと同じ舞台上。

PMFを応援する会フェロー 竹津香苗

「今年はPMF30回」、「エッシェンバッハ」、そして「マーラー千人の交響曲」（注1）。

私は、今、この舞台に出会えた喜びとそれぞれへの畏敬の念を憶えながら「マーラー千人の交響曲」の合唱の中で歌います。

私は2009年PMF20回記念コンサートで「マーラー 2番復活」をエッシェンバッハ指揮で歌いました。ピアノシモの静寂の中で始まる、あの厳かな響き…。今も、あの感動が甦ってまいります。今年は「マーラー千人の交響曲」をエッシェンバッハと歌えます。また、お会いできる！

合唱団400人の大合唱です。練習ではコーラスIとII、別々の練習です。私はIIのアルトで歌います。練習が進むにつれ声が重なり合い少しずつ豊かな響きとなり、曲の冒頭の“Veni”とフォルテッシモの力強い歌声に、「マーラー！」と琴線に触れる感動の瞬間もございま

す。これが400人の響きとなるのです。その時を思いながら練習に励んでいます。

エッシェンバッハは、1990年バーンスタイン没後、91年から98年（92年を除く）までをPMF芸術監督としてPMFを支えPMFアカデミーを育ててくださいました。別れの時、竹津（注2）は大学時代からの親友、NHK洋楽の名プロデューサー天野晶吉さんとTV番組「ステージア」エッシェンバッハ～札幌よ、さらば～を録り、番組中の池田香代子さん（注3）との対談でPMF愛や自身の戦争による過酷な幼少期を話されました。その悲しみから養母による音楽への愛で救われたと話しておられます。想像を絶する悲しみの中であの素晴らしい音楽が育てられ、あの誠実なお人柄が有ると。

今、なお一層の尊敬の念を深くいたします。「千人の交響曲」、エッシェンバッハ、楽しみです。



注1) マーラー交響曲第8番。演奏規模の膨大さから『千人の交響曲』の名で知られている

注2) 竹津宜男氏。PMFのみならず札幌の文化芸術の発展に尽力、2012年札幌芸術賞授与、2014年逝去

注3) ドイツ文学翻訳家。ソフィーの世界、グリム童話などドイツ語翻訳多数

私の原点はPMF、この感動をつなげたい。

PMF2002年参加 札幌交響楽団チューバ奏者 玉木亮一

1990年PMF開会式でのバーンスタインのスピーチをドキュメンタリー番組で見て、中学1年生だった私は音楽家になろうと決心しました。傍から見て病気を患っていること分かる彼が、残されたわずかな人生を教育に捧げる、という行いは子供に夢を与えるに十分すぎるほどの力強さがありました。また、東京の大学へ進学するまでの6年間、毎夏PMFを楽しみ、毎年放送されるドキュメンタリー番組を見ては、いつか自分も…、と夢見たのは自然な成り行きでした。



PMFのオーディションへの初挑戦はアメリカ留学時代、シカゴの会場でした。PMF2002年のフェローに合格し演奏したバーンスタイン作曲のキャンディード序曲には感動しました。今

でも演奏するたびに胸が熱くなり、20年近く前のことを思い出すスイッチのようなものです。

2004年札幌交響楽団に入団し、現在はホストシティオーケストラとしてPMFとの関わり合いが続いています。数年前に私の教え子も合格し、何かがつながった実感が持てました。

教育は施すもので、自然と身についていくものばかりではありません。札幌に生まれた私は、PMFを聞いて育ち、札幌の先生に習い、PMFに参加し、今は札幌団員としてPMFに参加しながら卒業生として見守る立場にもいます。私は地元の教育の場から目一杯の恩恵を受け今の自分があると自覚していますし、その教育の場を作ってくれた方々に感謝しています。そして、これから先も長くPMFが続くことで、同じ想いを共有できる音楽家が増えていってくれることを期待しています。

PMFSA カフェサロン@SCARTS

The Parallel World Orchestra (PWO)

奇跡のコラボ

ヴァイオリン・サクソ・パーカッション and オーロラ映像



大平 まゆみ



田野城 寿男



大家 和樹



中垣 哲也

2019. 5. 25(土) 17:30 開場 18:00 開演 会費 2500 円

札幌市中央区北1条西1丁目 札幌文化芸術交流センター SCARTS

V-net 主催のボランティアウィークに、私たち PMFSA が乗り込みます。いつもと場所や趣を変え「応援する会」十八番の異分野アーティストによるコラボマッチ。何が起こるか分からない、息もつかない展開と楽しい音の掛け合いを、美味しいドリンクや軽食とともにご堪能ください。申し込みは cafepmf@gmail.com 問い合わせは担当鈴木 (080-4044-4341) まで。先着 100 名様。

© TETSUYA NAKAGAKI

同日開催 「PMFを応援する会」パネル展@ SCARTS

5月25日 11:00~17:30

【編集後記】

本号の協奏は、「平成」から「令和」を跨いでの編集発送作業となりました。文字通り、時代の変遷を乗り越えたことに想いを馳せると、「応援する会」10周年もまた奇跡の積み重ね。桜の満開と素敵な仲間と、音楽と美味しいお酒に乾杯。(S)

協奏は皆さまの募金で作られています。
ご支援に感謝申し上げます。

発行 PMFを応援する会
〒005-0854 札幌市南区常盤4条2丁目17-13「カフェ・ディ・レニー」内
FAX専用: 011-301-3851
ホームページ <http://pmf-support.main.jp/>
フェイスブック www.facebook.com/much.love1990pmf.support
(印刷協力 株式会社 マルシン)